



2023-2032

＼生涯スポーツでいきいき／

# 阿南市スポーツ振興計画



阿南市教育委員会

2023-2032

## はじめに

近年、私たちをめぐる社会環境は大きく変化しています。高齢化社会の到来により、健康維持や体力づくりへの興味、関心も高まっていると言われています。

また、学齢期の子どもの体力低下も取りざたされており、市民みんなでスポーツに関心を持ち、取組みを始めることが求められています。

スポーツについては、平成23年に制定された「スポーツ基本法」において、「心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵(かん)養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動であり、今日、国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠のもの」と記載されていることから、本市においても例外なく「誰もがスポーツに親しめる」きっかけづくりは大変重要であると考えております。

スポーツといえば、「競技スポーツ」をイメージしがちですが、この計画ではこれまでの「スポーツ」という言葉を幅広く定義し、学校体育や幼児の運動遊び、さらには散歩やジョギング・通勤のウォーキングなど、レベルや内容にかかわらず、日常的な身体活動までをスポーツととらえることとし、スポーツをより身近に感じてもらいながら、きっかけづくりをしていく内容となっています。加えて、本計画における基本理念を「スポーツ・ライフ・バランス」とし、スポーツを「する」だけでなく、「みる」、「ささえる」こと、スポーツにかかわることすべてを含めて、スポーツの持つ魅力を一層拡げていきたいと考えております。

「阿南市総合計画 2021▶2028～咲かせよう夢・未来計画 2028～」の中で、スポーツ分野の目標に「生涯スポーツによるいきいきと暮らせるまちづくり」を掲げ、スポーツ分野の取組みを推進するため、「阿南市スポーツ振興計画」を策定することになりました。

この計画を市民の皆さんや関係団体との連携のもと発展させ、市民一人ひとりがスポーツを通じて、健康的なライフスタイルを過ごせるように、取り組んでまいります。

最後に、この計画の策定に当たり、アンケート調査にご協力いただいた皆様、パブリックコメント等によりご意見を寄せていただきました市民の皆様、ご協力いただきました関係者の皆様に対しまして、心よりお礼を申し上げます。

令和5年3月

阿南市市教育委員会教育長 坂本 和裕

# 目 次

|     |                       |    |
|-----|-----------------------|----|
| 第1章 | 計画策定に当たって             | 1  |
| 1   | 計画策定の目的               | 1  |
| 2   | スポーツとは                | 2  |
| 3   | 国・県の動向                | 3  |
| 4   | 計画の位置付け               | 8  |
| 5   | 計画期間                  | 10 |
| 第2章 | 阿南市のスポーツの現状と課題        | 11 |
| 1   | 国内のスポーツを取り巻く情勢        | 11 |
| 2   | 阿南市の現状                | 13 |
| 3   | 阿南市のスポーツ推進状況          | 15 |
| 4   | 阿南市のスポーツ施設の状況         | 17 |
| 5   | 阿南市のスポーツに関わる団体の状況     | 20 |
| 6   | アンケート調査               | 23 |
| 第3章 | 基本理念と基本目標             | 30 |
| 1   | 基本理念                  | 30 |
| 2   | 基本目標                  | 31 |
| 3   | 指標と目標値                | 32 |
| 第4章 | 施策の展開                 | 33 |
| 1   | 生涯スポーツによる「健康」づくりの推進   | 33 |
| 2   | 生涯にわたりスポーツに「親しむ」環境づくり | 34 |
| 3   | スポーツを通じた「交流」まちづくりの推進  | 41 |
| 第5章 | 計画の推進                 | 46 |
| 1   | 計画の推進                 | 46 |
| 2   | 計画の評価と見直し             | 46 |

# 第1章 計画策定に当たって

## I 計画策定の目的

平成23年に制定された「スポーツ基本法」は、これまでの「スポーツ振興法」を50年ぶりに全部改正されたもので、「スポーツ基本法」の前文には「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利である」と明記されており、スポーツ推進の重要性を示しています。

平成24年には、国において「スポーツ基本法」の理念を具現化した「第1期スポーツ基本計画」が策定され、その後、スポーツ庁の創設や東京2020オリンピック・パラリンピックの開催などを経て、現在は、令和4年度から令和8年度までの5年間を計画期間とした、第3期「スポーツ基本計画」が策定されています。

この計画では、今後のスポーツの在り方を見据え、東京オリンピック・パラリンピック競技大会のスポーツ・レガシーの発展に向けて、1つ目に「スポーツをつくる・はぐくむ」、「あつまり」、2つ目に「スポーツを「ともに」行い、「つながり」を感じる。」、3つ目に「スポーツに「誰もがアクセス」できる。」といった「新たな3つの視点」と支える具体的な施策について示されています。

一方、本市においては、平成22年に「野球のまち推進課」が創設され、本市にある「JA アグリあなんスタジアム」を活用し、野球大会や合宿、イベント等を行っており、本市のまちづくりに定着しています。加えて、令和4年度全国高等学校総合体育大会ホッケー競技の会場、また、「徳島ヴォルティス」のホームタウンとなり、スポーツを「する」だけでなく、スポーツを「みる」、「ささえる」も含めた多種多様なスポーツ振興を行っており、誰もが気軽にスポーツに触れるきっかけづくりを行っております。

また、スポーツ全体では、本市の上位計画である「阿南市総合計画 2021▶2028～咲かせよう夢・未来計画 2028～」で、「生涯スポーツによるいきいきと暮らせるまちづくり」をビジョンに掲げ、スポーツの推進を目指しているところです。

本計画では、市民、行政、団体、学校など、それぞれが抱える課題を整理し、明確にすることで、課題に対応した施策、推進体制を示し、スポーツ推進につなげることを目的としています。

## 2 スポーツとは

### ■スポーツの価値

スポーツ基本法の前文では「心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵養等のために、個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動」と示しています。

スポーツに親しむ人が増えることで、健康寿命の延伸、医療・介護費の削減や抑制、多様性を認め合う意識の醸成、地域コミュニティの活性化、市民活動の活性化、地域経済の活性化等の効果が期待できます。

#### 【スポーツ推進から派生する価値】

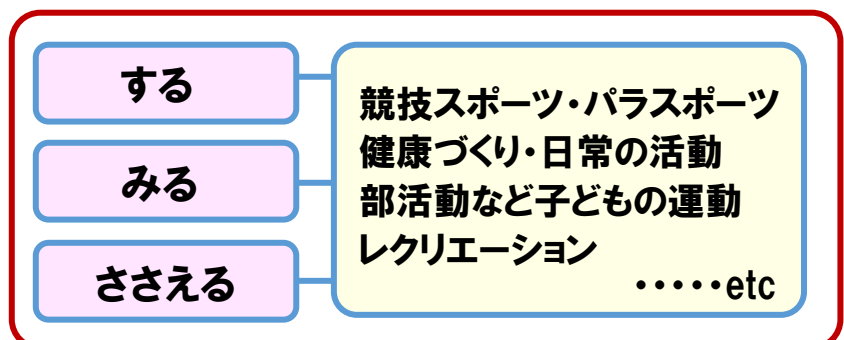
- ①心身の健康の保持増進
- ②青少年の健全育成
- ③活力ある地域社会の形成
- ④地域経済の活性化
- ⑤地域共生社会の実現

### ■スポーツの捉え方

陸上競技や球技、武道など競技性の高いものだけでなく、学校における体育活動や、健康づくりや介護予防などのために行うウォーキングや体操などの軽い運動、遊びの要素を取り入れるなど楽しみながら体を動かすレクリエーション活動、通勤・通学時の徒歩や自転車利用、階段昇降といった日常生活で意識的に行う身体活動なども含むものとしします。スポーツ観戦やスポーツボランティア活動に至るまで、スポーツを「する」「みる」「ささえる」といろいろな形で誰もが気軽に楽しめるものとしします。

#### 「スポーツそのものの価値」

#### 「スポーツが地域社会に与える様々な価値」



### 3 国・県の動向

#### (1) 国の動向

##### ◆法令◆

###### ○スポーツ基本法の制定（平成 23 年）

昭和 36 年に制定されたスポーツ振興法（昭和 36 年法律第 141 号）を 50 年ぶりに全部改正したものです。また、国・地方公共団体の責務を条文化しており、国の「スポーツ基本計画」及び、地方公共団体の「地方スポーツ推進計画」の策定について規定されています。

##### ◆省庁の創設◆

###### ○スポーツ庁の創設（平成 27 年 10 月）

スポーツ庁が創設された背景には、スポーツに関する施策を総合的に策定する上で、指揮を取る組織が必要だったことと、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、開催国として政府一丸となった準備が必要だったことがあります。

スポーツ庁の役割は、スポーツ行政の総合的な推進を図ります。

- ①地域スポーツの推進
- ②学校体育・武道の振興
- ③国際競技力の向上
- ④スポーツ界のガバナンス強化
- ⑤オリパラムーブメントの推進



◆第3期スポーツ基本計画（令和4年度～令和8年度）◆

○背景

新型コロナウイルス感染症の拡大により、生活が一変、スポーツ活動が中止や延期となり、スポーツに親しむ機会が失われていました。

個人にとって見ると、体力の低下やストレスの増加といった心身の健康保持への悪影響、閉塞感のまん延、日頃の成果発表の機会の喪失等の悪影響が生じました。

社会にとって見た場合、スポーツを核にした地域における交流の不足や、企業収益の低下など、国民生活や社会活動に様々な悪影響を及ぼしました。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック大会で、スポーツを「する」トップアスリートの姿、多種多様な種目を応援する「みる」行動、ボランティアがトップアスリートを「ささえる」といった、様々な立場でスポーツに関わる姿を確認し、スポーツの価値が確認されました。

○基本目標

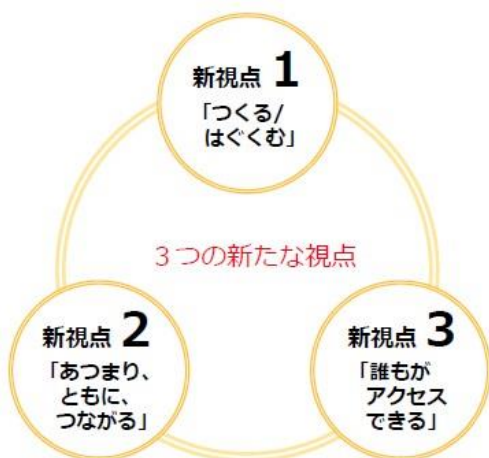
- ①スポーツで「人生」が変わる
- ②スポーツで「社会」を変える
- ③スポーツで「世界」とつながる
- ④スポーツで「未来」を創る



基本的方針の指す内容や、実現するための手立ては大きく変化しており、社会変化や出来事等を踏まえ、国民がスポーツを「する」「みる」「ささえる」ことを真に実現できる社会を目指すには、以下の3つの新たな視点が必要となる。



○3つの新たな視点



①「つくる／はぐくむ」

社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれずに柔軟に見直し・改善し、最適な手法・ルールを考え、作り出す。

②「あつまり、ともに、つながる」

様々な立場・背景・特性を有した人・組織があつまり、課題の対応や活動の実施を図る。

③「誰もがアクセスできる」

性別や年齢、障がい、経済・地域事情等の違いによって、スポーツ活動の開始や継続に差が生じないような社会の実現や機運の醸成を図る。

## ○今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む12の施策

### ①多様な主体におけるスポーツの機会創出

国民のスポーツ実施率を向上させ、日々の生活の中で一人一人がスポーツの価値を享受できる社会を構築する。

### ②スポーツ界におけるDXの推進

スポーツ界においてDXを導入することで、様々なスポーツに関する知見や機会を国民・社会に広く提供することを可能とし、スポーツを「する」「みる」「ささえる」の実効性を高める。

### ③国際競技力の向上

オリンピック・パラリンピック競技大会等を含む主要国際大会において、過去最高水準の金メダル獲得数、メダル獲得総数、入賞数及びメダル獲得競技数等の実現を図る。

### ④スポーツの国際交流・協力

スポーツの国際交流・協力を進めることで、スポーツ界における我が国の国際的な位置づけを高めるとともに、スポーツを通じた国・地域・人々のつながりを強める。

### ⑤スポーツによる健康増進

地域住民の多様な健康状態やニーズに応じて、関係省庁で連携しつつ、スポーツを通じた健康増進により健康長寿社会の実現を目指す。また、健康寿命の延伸に、スポーツ実施率の向上を通じて貢献する。

### ⑥スポーツの成長産業化

スポーツ市場を拡大し、その収益をスポーツ環境の改善に還元し、スポーツ参画人口の拡大につなげるという好循環を生み出すことにより、スポーツ市場規模5.5兆円を2025年までに15兆円に拡大することを目指す。

### ⑦スポーツによる地方創生、まちづくり

全国各地で特色ある「スポーツによる地方創生、まちづくり」の取組を創出させ、スポーツを活用した地域の社会課題の解決を促進することで、スポーツが地域・社会に貢献し、競技振興への住民・国民の理解と支持を更に広げ、競技振興と地域振興の好循環を実現する。

### ⑧スポーツを通じた共生社会の実現

誰もが「する」「みる」「ささえる」スポーツの価値を享受し、様々な立場・状況の人と「ともに」スポーツを楽しめる環境の構築を通じ、スポーツを軸とした共生社会を実現する。

### ⑨担い手となるスポーツ団体のガバナンス改革・経営力強化

スポーツの機会提供等の主要な担い手となるスポーツ団体のガバナンス改革・経営力強化を図ることで、国民がスポーツに関わる機会の安定的な確保に資する。

### ⑩スポーツの推進に不可欠な「ハード」「ソフト」「人材」

国民がスポーツに親しむうえで不可欠となる「ハード（場づくり）」「ソフト（環境の構築）」「人材」といった基盤を確保・強化するため、場づくりや環境の構築、スポーツに関わる人材の育成等を進める。

### ⑪スポーツを実施する者の安全・安心の確保

スポーツを実施する者が、本人の希望しない理由等でスポーツから離れたり、スポーツに親しむ機会を奪われないよう、スポーツを実施する者の心身の安全・安心を確保する。

### ⑫スポーツ・インテグリティの確保

我が国のスポーツ・インテグリティを高め、クリーンでフェアなスポーツの推進に一体的に取り組むことで、国民・社会がスポーツの価値を十分に享受できるような取組を進める。



## (2) 県の動向

### ◆憲章◆

○とくしまスポーツ憲章「踊りだす 阿波の国から 人・ゆめ・スポーツ」  
(平成 20 年)

- 目指すこと
- ・運動好きで健やかな子どもたちが育つ「元気なとくしま」
  - ・生涯にわたってスポーツを楽しむ「豊かなとくしま」
  - ・世界にはばたくトップアスリートが育つ「輝くとくしま」
  - ・親睦や交流の場としてスポーツに親しむ「ふれあいとくしま」

### ◆条例◆

○徳島県スポーツ推進条例（平成 26 年 3 月）

(基本理念)

第三条 スポーツの推進は、全ての県民が、少年期、青年期、壮年期、高年期等の各段階(以下「ライフステージ」という。)において、スポーツの有する意義について理解を深め、その関心、適性及び健康状態に応じ、身近にスポーツに親しむことができるよう行われなければならない。

2 スポーツの推進は、スポーツを行う者の心身の健康の保持増進及び安全の確保が図られるよう行われなければならない。

3 スポーツの推進は、青少年の体力の向上を図るとともに、公正さ及び規律を尊ぶ態度、克己心等を培い、豊かな人間性が育まれるよう行われなければならない。

4 スポーツの推進は、障がい者が積極的にスポーツに参加することができるよう、その障がいの種類及び程度に応じ、必要な配慮をしつつ行われなければならない。

5 スポーツの推進は、県内に居住したことがあり、若しくは県内に活動の拠点を置くスポーツ選手(プロスポーツの選手を含む。以下同じ。)又は県内に活動の拠点を置くスポーツチーム(以下「県のスポーツ選手等」という。)が国際的又は全国的な規模のスポーツの競技会において優秀な成績を収めることができるよう、スポーツに関する競技水準(以下「競技水準」という。)の向上に資する施策相互の有機的な連携を図りつつ、効果的に行われなければならない。

6 スポーツの推進は、世代間及び地域間の交流の基盤が形成され、かつ、その交流が促進されるよう行われなければならない。

7 スポーツの推進は、県のスポーツ選手等の活動を応援する社会的気運を高め、県民の一体感及び活力が醸成されるよう行われなければならない。

◆徳島県スポーツ推進計画（平成30年度～令和4年度）◆

○背景

平成25年3月にスポーツ推進の基本的な方向性を示す「徳島県スポーツ推進計画」を策定し、各市町村及び各スポーツ関係団体と連携を図り、「県民の豊かなスポーツライフ」の実現に向け、スポーツに関する施策の総合的な推進に努めました。

「東京オリンピック・パラリンピック」をはじめとする大規模な国際スポーツ大会が本県内外で連続して開催され、日本国中でスポーツへの興味・関心が高まることが期待されることから、これを「スポーツ王国とくしま」の推進と、「明るく活力あるスポーツライフ」の実現の機会と捉え、魅力的で多岐にわたるスポーツ関連施策を推進するため、新たな「徳島県スポーツ推進計画」を策定しています。

○基本目標

- ①世界にはばたくトップアスリートが育つ「輝くとくしま」の推進
- ②運動好きで健やかな子どもたちが育つ「元気なとくしま」の推進
- ③生涯にわたってスポーツを楽しむ「豊かなとくしま」の推進
- ④親睦や交流の場としてスポーツに親しむ「ふれあいとくしま」の推進

## 4 計画の位置付け

◆「阿南市総合計画 2021▶2028」（令和3年度～令和10年度）◆

スポーツ分野に関して、「生涯スポーツによるいきいきと暮らせるまちづくり」をビジョン（目指すまちの姿）に掲げています。

ビジョン 生涯スポーツによるいきいきと暮らせるまちづくり

基本目標 生涯スポーツ振興の推進

主要施策

スポーツ振興計画の整備（本計画の策定）

スポーツに関する幅広い情報提供の推進

スポーツ指導者の育成と確保

子どものスポーツ体験活動の推進

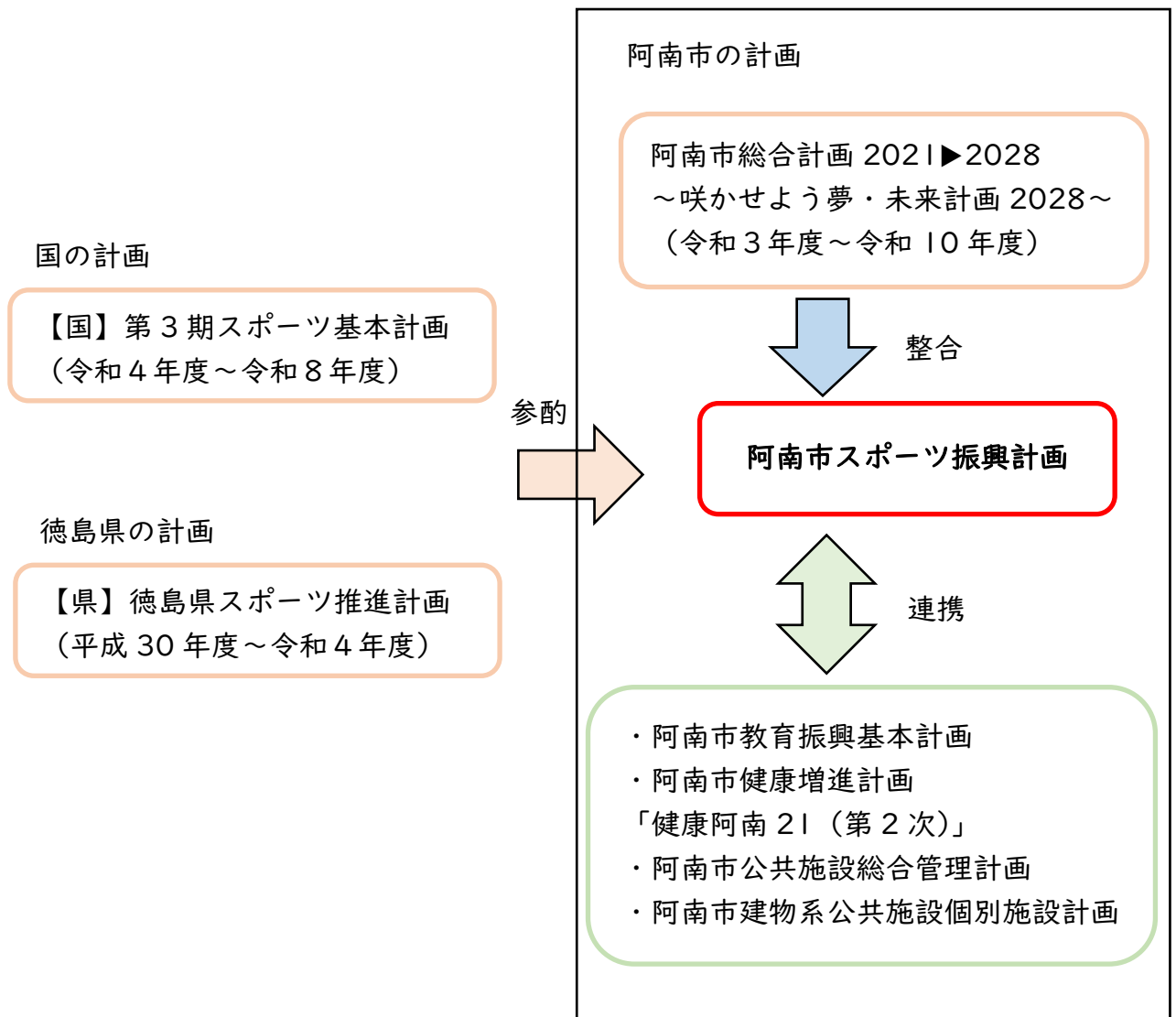
スポーツ環境・施設の整備促進

### ■成果指標

| 指標名                 | 単位 | 現状値    | 目標値    |        |
|---------------------|----|--------|--------|--------|
|                     |    | 2019年度 | 2024年度 | 2028年度 |
| スポーツ協会加盟競技団体数       | 団体 | 34     | 36     | 37     |
| スポーツ少年団員数           | 人  | 843    | 800    | 800    |
| 海洋スポーツ体験講座への参加延べ人数  | 人  | 43     | 200    | 200    |
| ベースボール型スポーツへの参加延べ人数 | 人  | 408    | 700    | 700    |
| 総合型地域スポーツクラブの会員数    | 人  | 450    | 475    | 500    |

本計画は、スポーツ基本法第10条に基づき、地域の実情に対応し、本来の特色を生かしたスポーツの推進に関する計画です。

策定に当たっては、国の「第3期スポーツ基本計画(令和4年度～令和8年度)」、県の「徳島県スポーツ推進計画(平成30年度～令和4年度)」を参酌するとともに、本市の基本的な指針である「阿南市総合計画 2021▶2028」との整合性を図っています。



## 5 計画期間

本計画の実施期間は令和5年度から令和14年度までの10年間です。

なお、本市の社会情勢の変化、計画の進捗状況等を分析・評価し、また、国及び県の次期計画に参酌し、必要に応じた見直しを、実施期間の5年目（令和9年度）に行います。

| 年度（令和）              | 4                                     | 5    | 6    | 7    | 8    | 9    | 10   | 11   | 12   | 13   | 14   |
|---------------------|---------------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 西暦                  | 2022                                  | 2023 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 | 2028 | 2029 | 2030 | 2031 | 2032 |
| 【国】<br>スポーツ<br>推進計画 | 第3期スポーツ基本計画<br>（令和4年度～令和8年度）          |      |      |      |      | 次期計画 |      |      |      |      |      |
| 【県】<br>スポーツ<br>推進計画 | 次期計画                                  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |
| 阿南市<br>総合計画         | 阿南市総合計画 2021▶2028<br>（令和3年度～令和10年度）   |      |      |      |      |      |      | 次期計画 |      |      |      |
| 阿南市<br>スポーツ<br>振興計画 | 阿南市スポーツ振興計画（令和5年度～令和14年度）<br>←→ 中間見直し |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |



## 第2章 阿南市のスポーツの現状と課題

### I 国内のスポーツを取り巻く情勢

#### (1) スポーツを取り巻く社会情勢の変化

我が国のスポーツを取り巻く情勢は、平成27年にスポーツ庁の新設とそれに伴う障がい者スポーツが厚生労働省から移管されるなど、新たなスポーツ政策が次々と展開されてきました。

また、ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック大会等の国際的なスポーツ大会の開催や、日本体育協会から日本スポーツ協会への名称変更がされ、昭和39年の東京オリンピックを記念して設けられた「体育の日」は、東京2020オリンピック・パラリンピック大会の開催が予定されていた令和2年に「スポーツの日」へと変更されました。

昭和21年に第1回大会が開催された我が国最大の国民スポーツの祭典である「国民体育大会」も、令和6年に開催される佐賀大会から「国民スポーツ大会」に改められることが既に決定するなどスポーツに対する社会情勢は大きく変化しています。

社会情勢の変化に伴い、スポーツは、学校教育における「体育」を誰もが経験する事から、「体育」と捉えてきましたが、時代の変化に伴い、自主的、自発的にスポーツを楽しんだり、スポーツを通じて地域交流や国際交流を図ったりするなど、スポーツの価値や役割は大きく見直されました。その結果、「体育」に替わり、「自発的に楽しむ」という意味を含む「スポーツ」が、団体やイベント等の名称に広く使われるようになりました。

このような社会情勢の変化を受けて、スポーツを推進する意義や目的は、従来から認識されてきた心身の健康づくりや人格形成、競技力向上という枠を超え、人々の暮らしをより豊かにするもの、地域コミュニティの形成や共生社会の実現、地域・経済の活性化に寄与するものとしても考えられるようになってきています。そのため、スポーツは個人と地域のどちらの視点においても、ますます欠かせない存在となっています。

## (2) 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会が1年延期されたほか、様々なスポーツ活動やスポーツイベントが中止・延期・活動自粛を余儀なくされ、スポーツに親しむ機会が失われ、市民生活や社会活動に大きな影響を与えました。

しかしながら、令和2年スポーツ庁「新型コロナウイルス感染症の流行による国民スポーツの参画状況や意識の変化、健康状態等に関する調査研究」では、成人における週1回以上のスポーツ実施率は、感染症拡大前よりも向上しており、スポーツ実施意欲が高くなっていることがわかっています。

新しい生活様式に留意しながらスポーツを推進することが求められており、一人で自宅やその周辺で取り組むものまで幅広くとらえ、ウイズコロナ・アフターコロナに即したスポーツの推進が求められています。

## (3) 人生100年時代の到来

日本人の健康寿命が延伸され、人生100年時代が到来すると予想される中、厚生労働省で「人生100年時代構想会議」を立ち上げ、幼少期から高齢者まで全ての人が元気に活躍する社会の実現を目指しています。

スポーツは、健康づくりや仲間づくり、地域とのつながりづくりにつながるものとして期待されます。

## 2 阿南市の現状

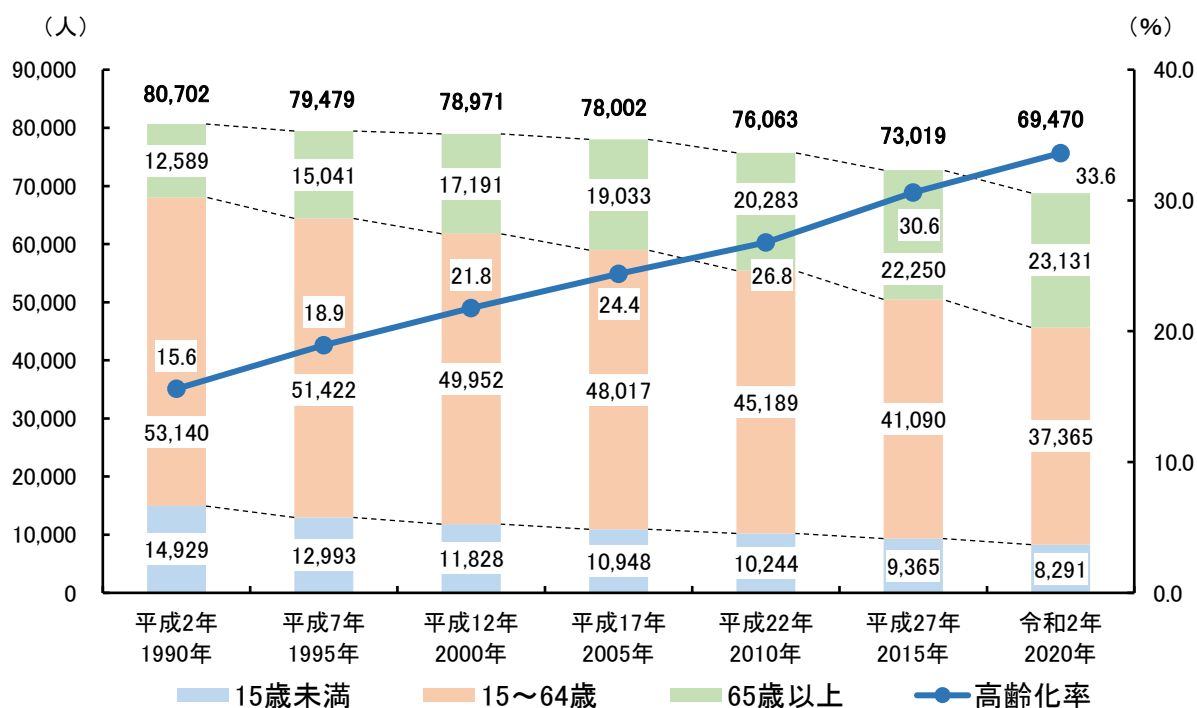
### (1) 人口等統計データ

阿南市の総人口は、平成2年以降、減少し続けています。令和2年の総人口は、平成2年当時の総人口から1割以上減少しています。

年齢区分別では、「15歳未満」と「15～64歳」の人口が減少し続けている一方で「65歳以上」の人口は増加し続けています。高齢化率は上昇を続け、令和2年では33.6%となっており、市民の3人に1人が「65歳以上」となっています。

「15歳未満」の人口が減少していることを踏まえると、今後も少子高齢化が進行することが予測されます。

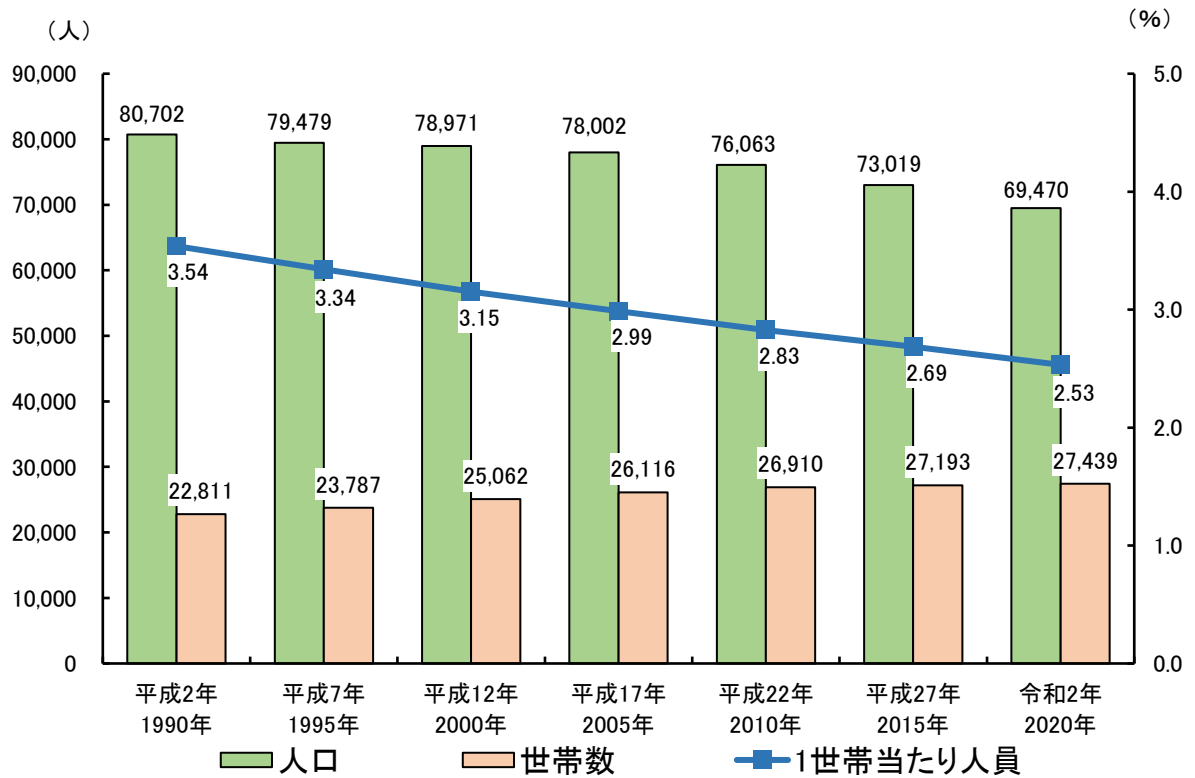
#### ●人口と高齢化率の推移



※総人口は年齢不詳を含んでいます。  
国勢調査(各年10月)参照

阿南市の世帯数は年々増加し続けている一方で、総人口は減少し続けているため、1世帯あたり人員の減少が続いています。令和2年時点で、1世帯あたり2.53人となっており、平成2年と比較すると、1世帯あたり約1人減少しています。

●世帯数と1世帯あたり人員



### 3 阿南市のスポーツ推進状況

本市で現在までに取り組んでいる、主な事業は以下のとおりです。

| 施策名・事業名           | 内容                                                                                                                  | 担当課     |
|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 阿南市スポーツ協会事務局事業    | 阿南市スポーツ協会の事務局を行い、本市におけるスポーツの普及、振興を行っている。                                                                            | スポーツ振興課 |
| 阿南市スポーツ少年団事務局事業   | 阿南市スポーツ少年団の事務局を行い、青少年の健全育成及び青少年へのスポーツの普及、振興を行っている。                                                                  | スポーツ振興課 |
| 阿南市スポーツ推進委員会事務局事業 | 阿南市スポーツ推進委員会の事務局を行い、スポーツ推進委員の市民とスポーツ推進委員との連携を図ることによる、市民へのスポーツの普及、振興を行っている。                                          | スポーツ振興課 |
| 阿南市こども相撲大会        | 阿南市内の小、中学生への相撲競技の普及、振興を行っている。                                                                                       | スポーツ振興課 |
| 親と子の水泳教室          | 親子を対象に、泳力向上を図ることにより、プール及び水泳への親しみを深めるとともに、水泳競技の普及、振興を行っている。                                                          | スポーツ振興課 |
| 阿南市体育祭            | 阿南市スポーツ協会所属の各競技団体において、市民向けのスポーツ事業を実施し、市民のスポーツ機会の提供を行っている。                                                           | スポーツ振興課 |
| B & G マリンスポーツ体験会  | 夏季期間において、カヌーやSUPなどのマリンスポーツの体験会を実施し、マリンスポーツの普及、振興を図り、また、海への関心を深めるきっかけづくりを行っている。                                      | スポーツ振興課 |
| 那賀川流域センチュリーラン     | 那賀川流域のコースを活用し、自転車を通じたスポーツの普及、振興を行っている。                                                                              | スポーツ振興課 |
| 阿南駅伝              | 本市のスポーツ振興の中心施設である「しんきんサンアリーナ（阿南市スポーツ総合センター）」の周辺を周回するコースとし、初心者でも参加できる駅伝となっている。また、市陸上競技協会と共催することにより、陸上競技の普及、振興を行っている。 | スポーツ振興課 |
| スポーツ少年団駅伝競走大会     | 市スポーツ少年団に登録している各団対抗による駅伝を実施することにより、他の団との交流の機会の提供を行い、また、青少年健全育成及び子どもたちへのスポーツ振興を行っている。                                | スポーツ振興課 |



| 施策名・事業名            | 内容                                                                                                                                  | 担当課     |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 阿南健康マラソン           | 「小学生の部」、「中学生の部」、「高校一般の部」、「壮年の部」、「家族の部」と多くの種目を設けることにより、マラソン初心者から経験者まで様々な方が参加できるマラソンイベントとなっている。また、市陸上競技協会と共催することにより、陸上競技の普及、振興を行っている。 | スポーツ振興課 |
| スポーツリーダーバンク事業      | 各種スポーツの指導者登録を行い、指導者が必要なスポーツ活動への派遣等を実施し、市民のスポーツ機会の増進につなげている。                                                                         | スポーツ振興課 |
| 日本体育大学との協定に基づく事業   | 学校法人日本体育大学と平成27年に「体育・スポーツ振興に関する協定書」に基づき、「小中学校プレミアム授業」、「小中学校教員等研修会」、「ジュニアドリームキャンプ」、「市民健康づくり講座(事業)」を実施し、スポーツ振興に寄与している。                | スポーツ振興課 |
| 社会体育施設の整備・維持事業     | 本市が所有する社会体育施設の維持管理や必要に応じた整備を行うことにより、本市におけるスポーツの普及、振興を行っている。                                                                         | スポーツ振興課 |
| 阿南市立学校の施設の開放に関する事業 | 学校教育に支障がない範囲で、市民に施設を開放することにより、社会体育の普及、振興を行っている。                                                                                     | スポーツ振興課 |
| 市のスポーツ広報事業         | 市民にスポーツ事業の広報を行い、本市におけるスポーツの普及、振興を行っている。                                                                                             | スポーツ振興課 |



■阿南健康マラソン



■親と子の水泳教室

#### 4 阿南市のスポーツ施設の状況

| 施設名                                       | 所在地                | 経過年数 | 延床面積<br>(㎡) | 規模                                                                                                                                                                |
|-------------------------------------------|--------------------|------|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| しんきんサン<br>アリーナ<br>(スポーツ総合センター)            | 阿南市七見町下川田<br>100-1 | 20   | 6,421.30    | メインアリーナ<br>広さ 2,074.00 ㎡<br>バレーボール 3面<br>バスケットボール 2面<br>バドミントン 12面<br>サブアリーナ<br>広さ 514.80 ㎡<br>バレーボール 1面<br>バドミントン 3面<br>トレーニングルーム<br>広さ 316.20 ㎡                 |
| しんきんサン<br>アリーナ<br>(スポーツ総合センター)<br>プール(室内) |                    | 18   |             | 温水プール<br>広さ 25m×12m<br>(1.8m×6m コース)<br>深さ 0m~1.3m<br>(可動床)                                                                                                       |
| 那賀川スポーツセンター                               | 阿南市那賀川町苅屋<br>354-1 | 18   | 3,404.00    | メインアリーナ<br>広さ 1,191.00 ㎡<br>バレーコート2面<br>バドミントン6面<br>サブアリーナ<br>広さ 407.4 ㎡<br>バレーコート1面<br>バドミントン1面                                                                  |
| 羽ノ浦スポーツセンター                               | 阿南市羽ノ浦町宮倉<br>沢田100 | 0    | 3,544.35    | メインアリーナ<br>広さ 1,852.52 ㎡<br>バレーボール 3面<br>バスケットボール 2面<br>バドミントン 9面<br>武道場(サブアリーナ)<br>広さ 477.60 ㎡<br>バレーボール 1面<br>バドミントン 2面<br>卓球場(多目的スペース)<br>広さ 333.67 ㎡<br>卓球 5台 |

| 施設名                                 | 所在地               | 経過年数 | 延床面積<br>(㎡) | 規模                                                                                   |
|-------------------------------------|-------------------|------|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 阿南市 B & G 海洋センター 体育館                | 阿南市津乃峰町長浜 387     | 40   | 1,096.00    | バレーボール 2面                                                                            |
| 阿南市那賀川 B & G 海洋センター 体育館・武道館         | 阿南市那賀川町今津浦向新田20-5 | 44   | 1,627.00    | バレーボール2面<br>武道場                                                                      |
| 武道館                                 | 阿南市大湊町210-56      | 29   | 1,477.00    |                                                                                      |
| 春日野体育館                              | 阿南市羽ノ浦町春日野1-766   | 40   | 744.00      | バレーボール2面                                                                             |
| 屋内多目的施設<br>(あななんアリーナ)               | 阿南市桑野町桑野谷 34-1    | 7    | 2,435.08    | ○野球雨天練習<br>・内野守備練習<br>・バッティングゲージ<br>6面<br>・ピッチング練習<br>(4投手同時使用可)<br>○フットサル<br>・公式用1面 |
| 阿南市 B & G 海洋センター複合型施設<br>(うみてらす北の脇) | 阿南市中林町原23-1       | 3    | 547.87      | 艇庫<br>広さ 195.24 ㎡<br>カヌー、SUP 等<br>研修室<br>広さ 61.07 ㎡                                  |



■JA アグリあなん陸上競技場

| 施設名                                 | 所在地                     | 経過年数 | 面積<br>(㎡) | 規模                                                                     |
|-------------------------------------|-------------------------|------|-----------|------------------------------------------------------------------------|
| 春日野<br>グラウンド                        | 阿南市羽ノ浦町<br>春日野 1 番地 118 | 48   | 4,110     |                                                                        |
| 羽ノ浦<br>グラウンド                        | 阿南市羽ノ浦町宮倉<br>沢田 82      | 47   | 10,500    |                                                                        |
| 新野グラウンド                             | 阿南市新野町馬見<br>21          | 45   | 26,328    |                                                                        |
| 南部ふるさと<br>ふれあい運動<br>公園(福井グラ<br>ウンド) | 阿南市橘町土井崎<br>34-1        | 31   | 9,042     |                                                                        |
| J A アグリ<br>あなんスタジア<br>ム             | 阿南市桑野町桑野谷<br>34-1       | 15   | 29,261    | 両翼：100.0m<br>センター：122.0m<br>収容人数：約 5,000 人                             |
| J A アグリ<br>あなん陸上競<br>技場             | 阿南市桑野町桑野谷<br>34         | 1    | 42,100    | トラック：全天候型舗装<br>フィールド：天然芝<br>サッカー（公式）1 面<br>スタンド：RC 造<br>収容人数：約 1,000 人 |
| 羽ノ浦健康ス<br>ポーツランド                    | 阿南市羽ノ浦町宮倉<br>沢田 132     | 31   | 75        |                                                                        |
| 阿南市 B & G<br>海洋センター<br>艇庫           | 阿南市大湊町 204-1            | 40   | 200       |                                                                        |
| 阿南市那賀川<br>B & G 海洋セ<br>ンタープール       | 阿南市那賀川町赤池<br>132        | 41   | 108       |                                                                        |
| 橘港中浦緑地<br>公園                        | 阿南市橘町大浦                 | 36   | 57,000    | 多目的グラウンド 1 面<br>テニスコート 2 面<br>ホッケー場 1 面                                |
| 橘港中浦緑地<br>運動場                       | 阿南市橘町中浦                 |      |           |                                                                        |
| 橘港小勝緑地<br>公園                        | 阿南市橘町小勝 3               | 7    | 120,000   | ソフトボール場 3 面<br>サッカー場 1 面                                               |
| 桑野<br>グラウンド                         | 阿南市山口町内田<br>145-8       | 43   | 6,200     |                                                                        |

## 5 阿南市のスポーツに関わる団体の状況

(1) 阿南市スポーツ協会に登録している団体 令和4年4月1日現在

○各スポーツ団体 32 団体

|              |             |
|--------------|-------------|
| あかつき野球連盟     | 阿南歩こう会      |
| 弓道協会         | グランドゴルフ協会   |
| ゲートボール協会     | 剣道連盟        |
| 拳法協会         | サーフィン連盟     |
| サッカー協会       | 阿南 SUP 振興協会 |
| 生涯野球連盟       | 銃剣道連盟       |
| 柔道連盟         | 水泳連盟        |
| スケートボード協会    | スポーツ少年団     |
| スポンジテニス連盟    | 相撲連盟        |
| ソフトテニス連盟     | ソフトボール協会    |
| 体操協会         | 卓球協会        |
| テニス協会        | 軟式野球連盟      |
| バウンドテニス協会    | バスケットボール協会  |
| バドミントン協会     | バレーボール協会    |
| フォークダンス連盟    | ホッケー協会      |
| ラグビーフットボール協会 | 陸上競技協会      |

○地区体育協会・スポーツ協会 14 団体

|           |           |
|-----------|-----------|
| 新野体育協会    | 大野スポーツ協会  |
| 加茂谷体育協会   | 桑野体育協会    |
| 宝田体育協会    | 橘体育協会     |
| 椿体育協会     | 富岡体育協会    |
| 長生体育協会    | 那賀川体育協会   |
| 中野島スポーツ協会 | 羽ノ浦スポーツ協会 |
| 福井体育協会    | 見能林スポーツ協会 |

○体育連盟 3 団体

|          |         |
|----------|---------|
| 小学校体育連盟  | 中学校体育連盟 |
| 市内高校体育連盟 |         |



(2) 阿南市スポーツ少年団一覧 令和4年9月1日現在

○野球

|            |             |
|------------|-------------|
| 羽ノ浦パピヨン    | 見能林スポーツ少年団  |
| 長生ファイターズ   | 大野城山少年野球    |
| 新野バンビーズ    | 岩脇リバースターズ   |
| 富岡スワローズ    | 福井若竹        |
| 宝田ダックス     | 今津少年野球部     |
| 平島少年野球部    | 横見クラブ       |
| 中野島スポーツ少年団 | 桑野シルバータイガース |
| 加茂谷若鮎クラブ   |             |

○サッカー

|           |            |
|-----------|------------|
| 羽ノ浦サッカー   | 見能林 FC     |
| 長生 FC     | FC ソシオス    |
| 新野ジュニア FC | 津乃峰・桑野 FC  |
| 富岡サッカー    | 那賀川サッカークラブ |

○バスケットボール

|                  |                  |
|------------------|------------------|
| 羽ノ浦ミニバスケットボールクラブ | 見能林ミニバスケットボールクラブ |
| 那賀川ミニバスケットボールクラブ |                  |

○バレーボール

|           |                  |
|-----------|------------------|
| 見能林 JVC   | 長生 JVC           |
| 岩脇 JVC    | 富岡 JVC           |
| 福井 JVC    | 宝田ジュニア           |
| 横見 JVC    | 中野島フェニックス        |
| 桑野インパルス   | 那賀川ジュニアバレーボールクラブ |
| 羽ノ浦クラブ    | 翔躍 VC            |
| アプロディーテ阿南 |                  |

○剣道

|            |            |
|------------|------------|
| 羽ノ浦少年剣道    | 阿南剣道       |
| 徳島剣清塾      | 大野城山剣道     |
| 新野少年剣道教室   | 那賀川少年剣道クラブ |
| 那賀川剣道わかあゆ会 | 徳島至誠館      |

○その他

|         |  |
|---------|--|
| 合気道阿南道場 |  |
|---------|--|

(3) 複合型地域スポーツクラブ、その他団体・クラブ一覧 令和4年4月1日現在

○複合型地域スポーツクラブ 3団体

| クラブ名            | 活動施設/場所                       |
|-----------------|-------------------------------|
| Rex なかがわ        | 那賀川スポーツセンター                   |
| サンアリーナスportsクラブ | しんきんサンアリーナ<br>(阿南市スポーツ総合センター) |
| スポーツクラブ はーぶな長生  | 長生小学校体育館                      |

○その他の団体・クラブ 4団体

| クラブ名              | 住所                                  |
|-------------------|-------------------------------------|
| 阿南市セニヤクラブ (老人クラブ) | 阿南市富岡町北通 33 番地社協内<br>社会福祉協議会内       |
| 阿南市レクリエーション協会     | 阿南市富岡町トノ町 1 2 番地 3<br>阿南市スポーツ振興課内   |
| 阿南市カローリング協会       | 阿南市富岡町トノ町 1 2 番地 3<br>阿南市レクリエーション協会 |



■メガサップ (海洋センタースクール事業)

## 6 アンケート調査

令和3年（2021年）9月1日現在において、市内在住の40歳以上の方から地域ごとに無作為抽出した市民1,500人、阿南市立小・中学校並びに阿南市内の中学校、高等学校に通学する約8,000人及び阿南市立小・中学校教員、小学生保護者、運動施設を利用する人を対象に、運動やスポーツ活動への関心等を把握するためにアンケート調査を行いました。

### ■調査実施内容

| 調査先    | 小学生                | 中学生                | 高校生・高専生            |
|--------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 調査実施期間 | 令和3年9月3日<br>～10月8日 | 令和3年9月3日<br>～10月8日 | 令和3年9月3日<br>～9月30日 |
| 配布数    | 児童3,556部           | 生徒1,987部           | 生徒2,712部           |
| 配布方法   | 学校配布回収             | 学校配布回収             | 学校配布回収             |
| 回収数    | 2,764              | 1,830              | 2,472              |
| 回収率    | 77.7%              | 92.1%              | 91.2%              |

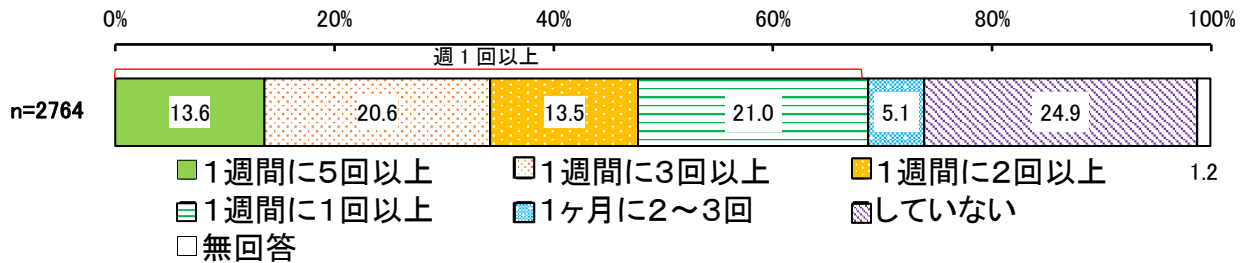
| 調査先    | 小学校教員              | 中学校教員              |
|--------|--------------------|--------------------|
| 調査実施期間 | 令和3年9月3日<br>～10月8日 | 令和3年9月3日<br>～10月3日 |
| 配布数    | 教員22部              | 教員11部              |
| 配布方法   | 学校配布回収             | 学校配布回収             |
| 回収数    | 19                 | 9                  |
| 回収率    | 86.4%              | 81.8%              |

| 調査先    | 40歳以上                | 小学生保護者             | 運動施設                |
|--------|----------------------|--------------------|---------------------|
| 調査実施期間 | 令和3年9月17日<br>～10月25日 | 令和3年9月3日<br>～10月8日 | 令和3年9月30日<br>～11月5日 |
| 配布数    | 1,500部               | 3,556部             | 500部                |
| 配布方法   | 郵送配布回収               | 学校配布回収             | 施設配布回収              |
| 回収数    | 644                  | 2,474              | 229                 |
| 回収率    | 42.9%                | 69.6%              | 45.8%               |

(1) 市民の運動・スポーツの頻度

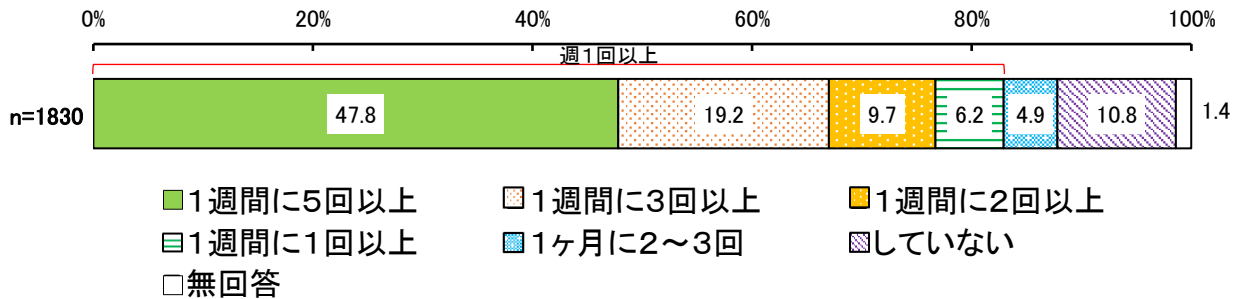
■小学生

1週間に1回以上の実施 68.7%



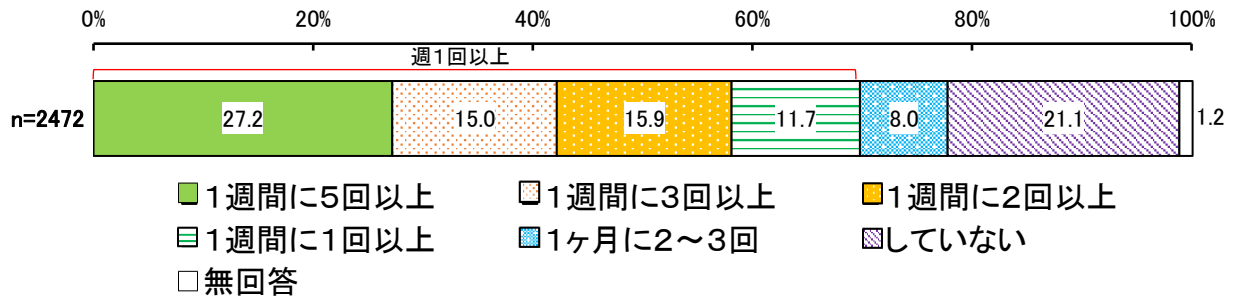
■中学生

1週間に1回以上の実施 82.9%



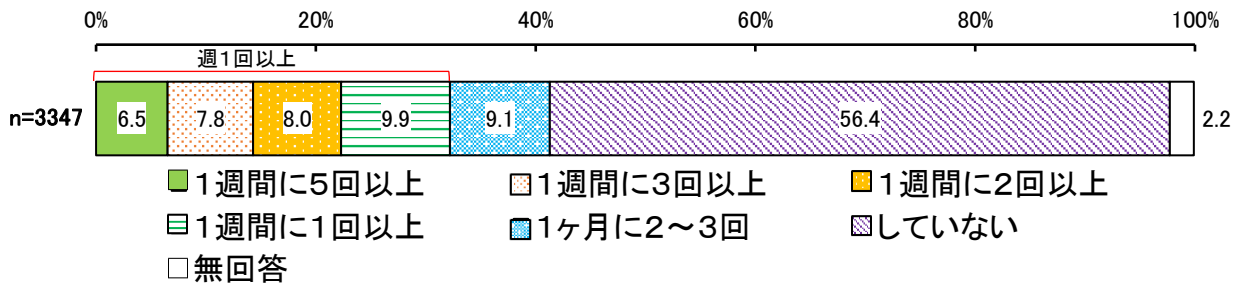
■高校生・高専生

1週間に1回以上の実施 69.8%



■成人

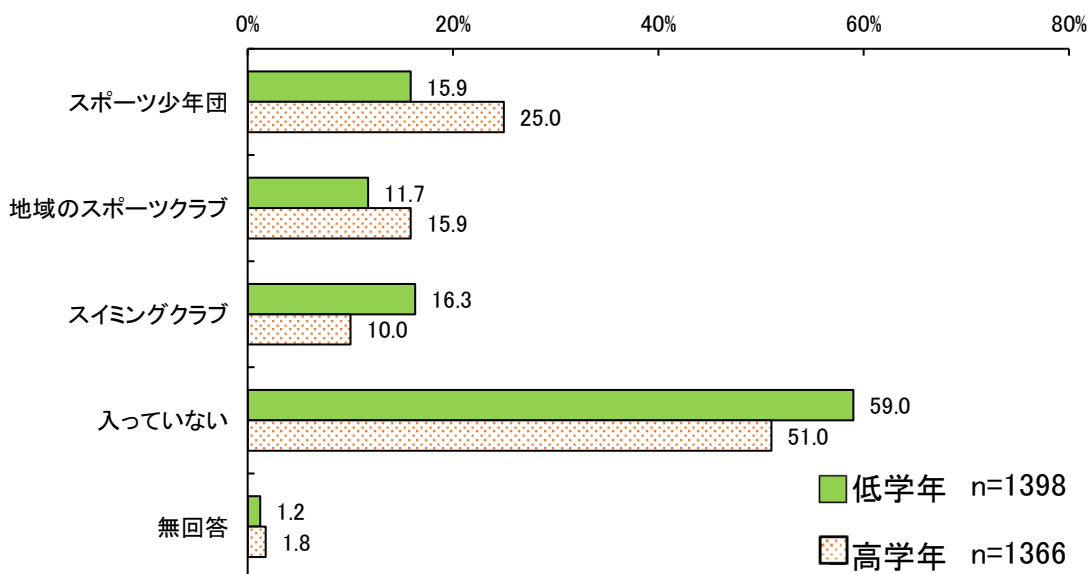
1週間に1回以上の実施 32.2%



## (2) 小学生

- ・体力に自信がある低学年 55.8%・高学年 51.4%、学年が上がるほど体力に自信が減少。
- ・運動・スポーツの頻度は、週2～3回以上 34.1%、  
運動時間は、30分～2時間 70.2%。
- ・運動・スポーツをしない理由、  
低学年 「保護者が忙しく、一緒について行くことができない」 53.4%  
高学年 「特に理由がない」 37.8% ※運動スポーツに親しむ拡大をねらう層
- ・よく行う運動・スポーツ、  
男子 ウォーキング・散歩、水泳、サッカー・フットサル、野球  
女子 ウォーキング・散歩、水泳
- ・スポーツ少年団加入低学年 15.9%・高学年 25.0% 【グラフ】  
どこにも入っていない低学年 59.0%・高学年 51.0% 女子の方が多い。

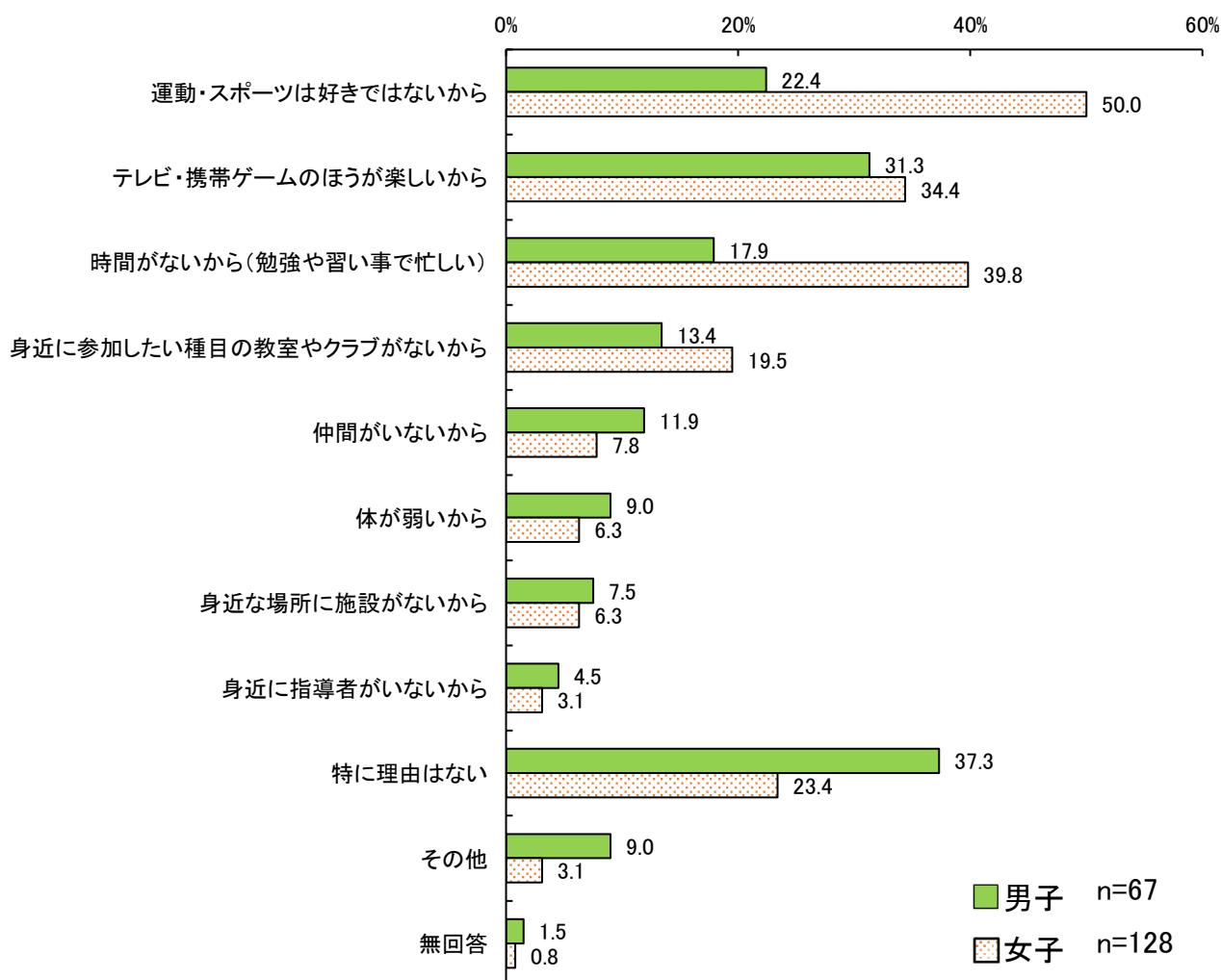
### ■スポーツ少年団などの活動参加（学年）



### (3) 中学生

- ・体力に自信がある 44.1%。
- ・運動・スポーツの頻度は、週5回以上 47.8%、  
運動時間は、30分～2時間 59.5%。
- ・運動・スポーツをしない理由 【グラフ】
  - 「運動・スポーツは好きではない」 40.9%
  - 「特に理由がない」 28.8% ※運動スポーツに親しむ拡大をねらう層
- ・よく行う運動・スポーツ、
  - 男子 ウォーキング・散歩、ジョギング・ランニング
  - 女子 ジョギング・ランニング、ウォーキング・散歩
- ・運動部への参加 63.9%
- ・運動部に参加しない理由 「文化活動に参加している」 37.7%

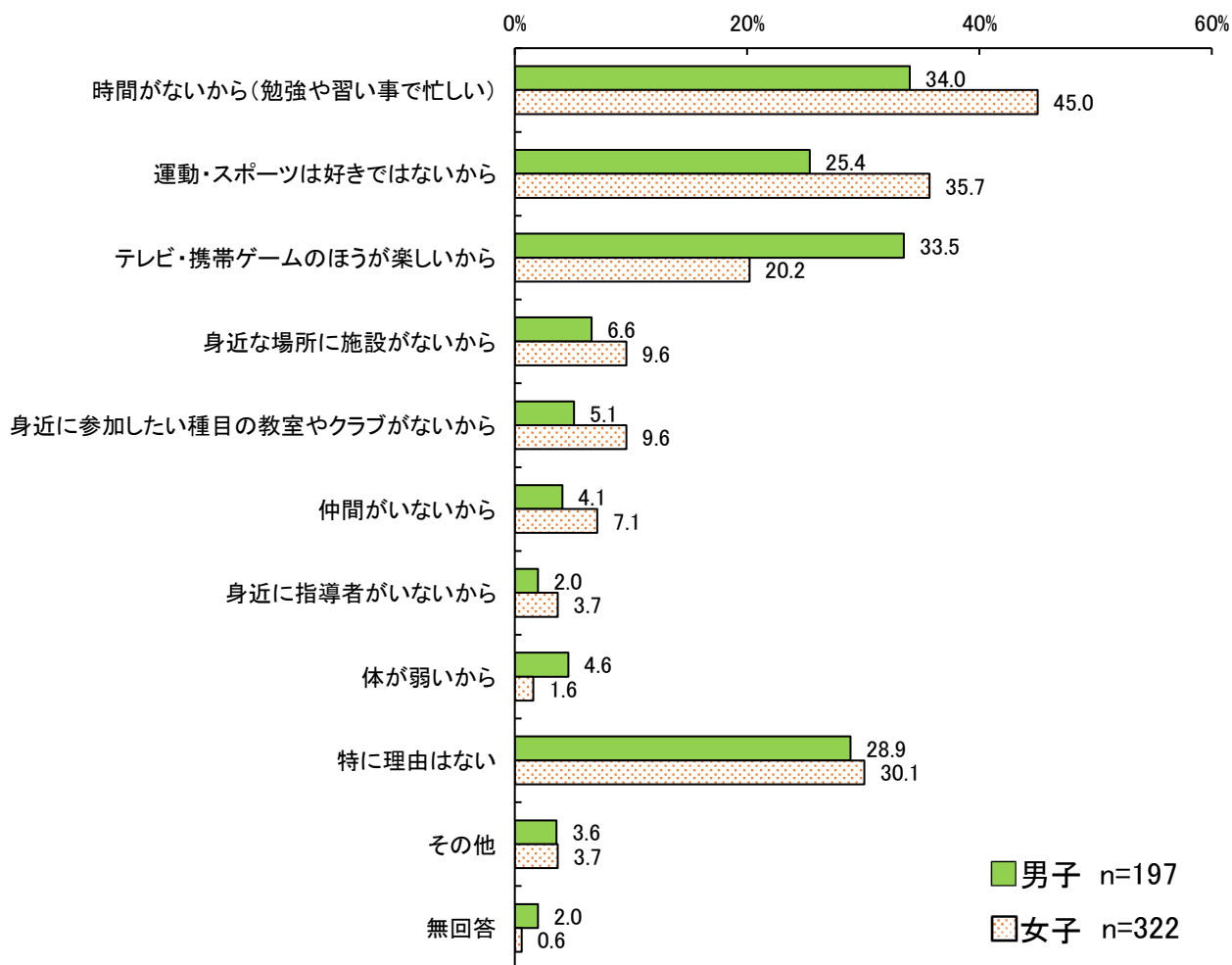
#### ■運動・スポーツをしていない理由（性別）



#### (4) 高校生

- ・体力に自信がある 44.1%。
- ・運動・スポーツの頻度は、週3～5回以上 42.2%、  
運動時間は、30分～2時間 63.2%。
- ・運動・スポーツをしない理由 【グラフ】
  - 「時間が無いから」40.7%
  - 「特に理由がない」29.8% ※運動スポーツに親しむ拡大をねらう層
- ・よく行う運動・スポーツ、  
男子 ジョギング・ランニング、ウォーキング・散歩  
女子 ウォーキング・散歩、ジョギング・ランニング
- ・運動部への参加 43.5%
- ・運動部に参加しない理由 「文化活動に参加している」37.8%
- ・阿南市のスポーツ施設の利用  
「しんきんサンアリーナ（しんきんサンアリーナ温水プール）」48.4%
- ・阿南市のスポーツ施設の情報源 「情報を得ていない」56.9%

#### ■運動・スポーツをしていない理由（性別）

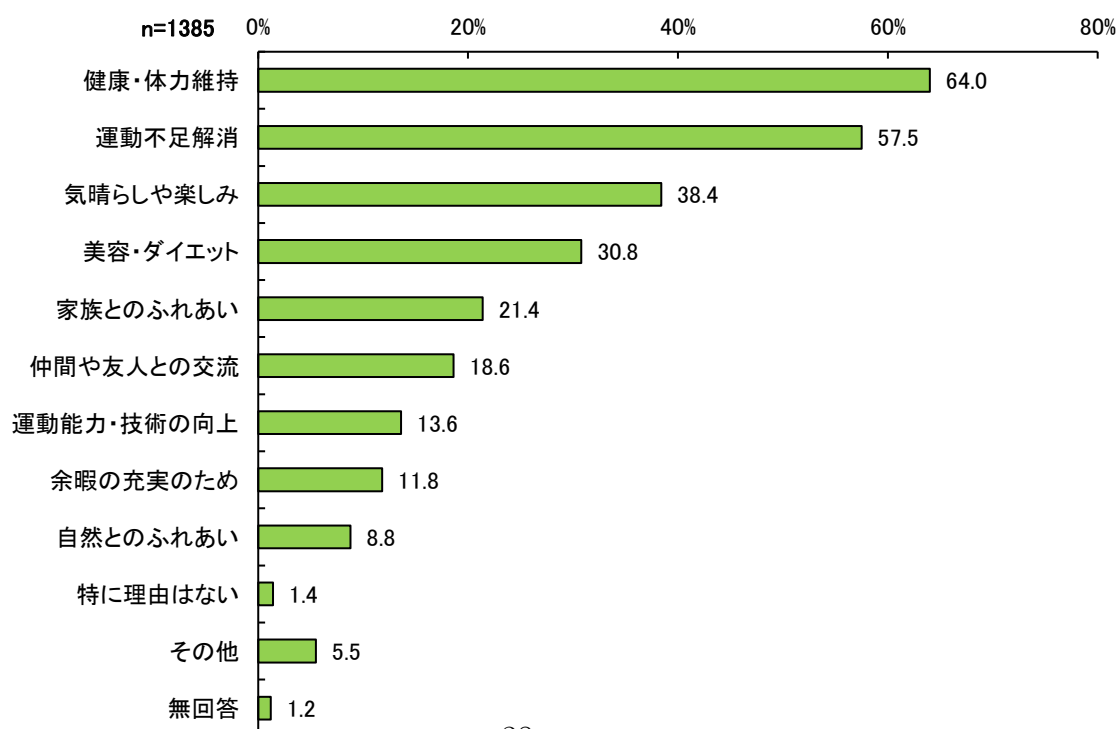




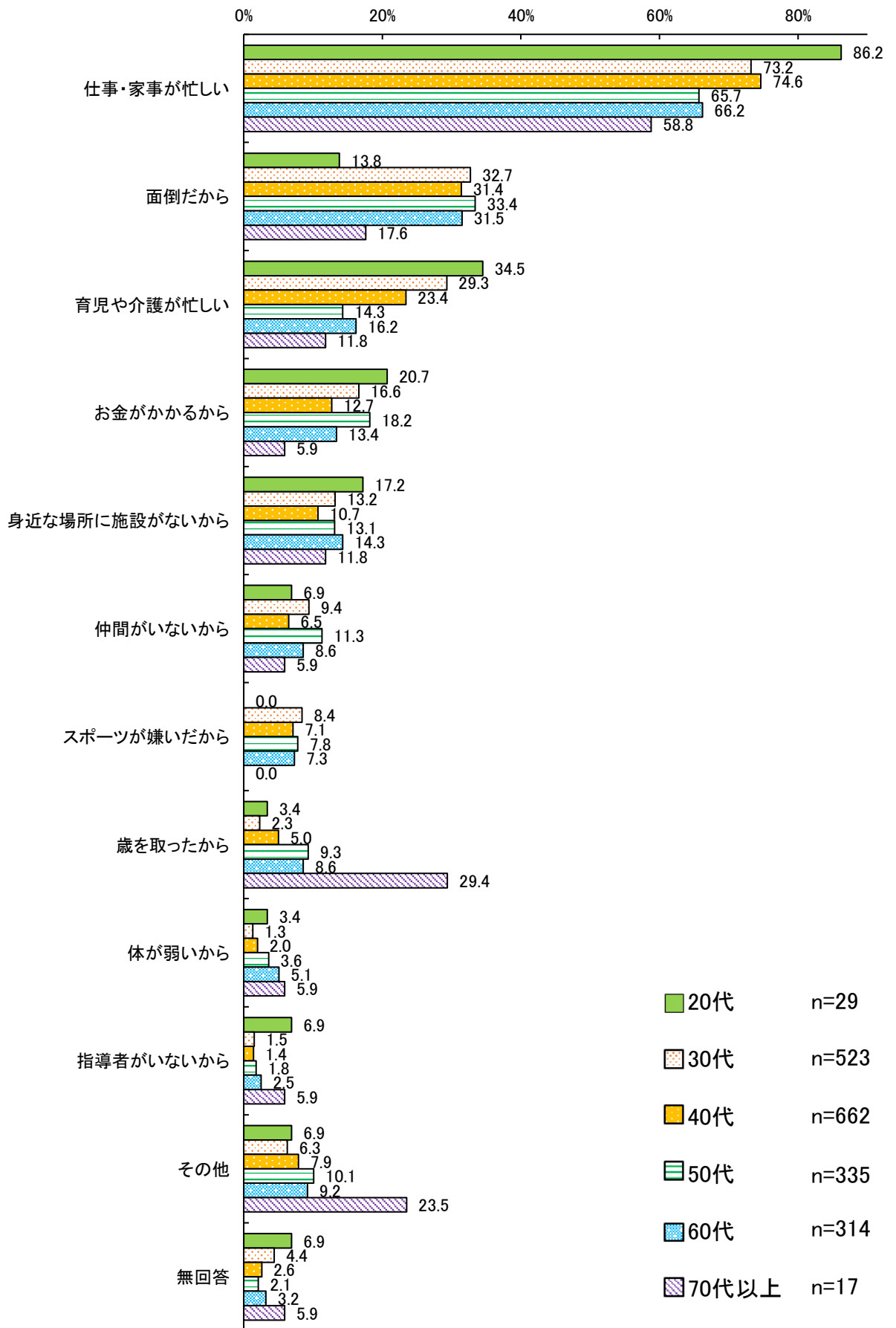
## (5) 成人

- ・運動不足 84.6%。
- ・運動・スポーツの頻度は、していない 56.4%。
- ・運動・スポーツをする理由 【グラフ】
  - 「健康・体力維持」64.0%
  - 「運動不足解消」57.5%
- ・運動・スポーツを行う場所 自宅 28.8%で最多、阿南市公共施設 23.5%
- ・運動・スポーツをしない理由 【グラフ】
  - 「仕事・家事が忙しい」71.1%
- ・よく行う運動・スポーツ ウォーキング・散歩 65.5%
- ・阿南市のスポーツ施設の利用
  - 「しんきんサンアリーナ（しんきんサンアリーナ温水プールプール）」48.8%
  - 「利用した施設がない」22.3%
- ・阿南市のスポーツ施設の情報源
  - 「広報あなん」36.7%、「情報を得ていない」30.5%
- ・阿南市の運動・スポーツ行事の認知度
  - 「阿南駅伝大会」31.8%
  - 「阿南市体育祭」28.0%
  - 「知っている運動・スポーツ行事はない」26.9%
- ・阿南市の運動・スポーツ行事への参加
  - 「阿南市体育祭」9.1%
  - 「参加した運動・スポーツ行事はない」38.7%

### ■運動・スポーツを行う理由（全体）



■ 運動・スポーツをしていない理由（年齢）



## 第3章 基本理念と基本目標

### I 基本理念

#### ～ 基本理念 ～

### スポーツ・ライフ・バランス

#### 生涯スポーツによる「健康・交流」の推進

#### スポーツ・ライフ・バランス sports-life balance

生活の中にスポーツや運動体験を積極的に取り入れ、楽しく、健康的な生活を送るという考え方を示す「スポーツ・ライフ・バランス」を提唱します。

国がスポーツ基本法の理念を具現化した、「第2期スポーツ基本計画」の総括においては、「スポーツの価値」には、スポーツを「する」ことで得られる心身の健全な発達や健康・体力の保持増進、精神的充足感に加え、スポーツを「みる」「ささえる」といった参画から「楽しさ」や「喜び」を得ることで人々の生活や心をより豊かにする「スポーツそのものが有する価値」と、スポーツを通じて「地域社会の再生」「健康で活力に満ちた長寿社会の実現」「国民経済の発展」「国際相互理解の促進」等を進めることで、社会課題の解決に寄与することができる「スポーツが社会活性化等に寄与する価値」という2つの観点があるとされています。

このことから、「阿南市スポーツ振興計画」においては、その可能性を最大限に引き出すために、市民の誰もがスポーツに関わっていく、市民一人ひとりの生活の中に「スポーツ」が当たり前のように存在する社会の実現をめざしています。

そのため、あらゆる世代の人が、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる「生涯スポーツ」の推進を施策の柱に据え、スポーツによる健康的な生活、スポーツに慣れ親しむ環境づくり、スポーツによる交流から生まれる地域社会の活性化を基本目標とします。

## 2 基本目標

### ◆基本目標1 生涯スポーツによる「健康」づくりの推進

人生100年時代を迎え、心身の健康への関心が高まっています。スポーツは体力の向上や身体的な健康だけではなく、心の健全育成や精神的な充足感を得るものです。また、仲間づくりや地域コミュニティの活性化にも寄与すると期待されています。スポーツを通じて、身体的・精神的に満たされた、「健康」ライフ・バランスを市民が実現できるように取組を推進します。

### ◆基本目標2 生涯にわたりスポーツに「親しむ」環境づくり

スポーツイベントや施設など全ての場でダイバーシティ&インクルージョンの視点を持ち、年齢や性別、障がいの有無、国籍などに関わらず、誰もがスポーツに親しめる取組を推進します。障がい者をはじめ、配慮が必要な人への取組を進めることで、スポーツに取り組みやすい環境の整備につなげます。また、子どものスポーツに親しむ機会の増加、子育て世代や働く世代もスポーツに親しむ機会の創出に関わる取組を進め、あらゆる人のスポーツ人口の拡大を目指します。

### ◆基本目標3 スポーツを通じた「交流」まちづくりの推進

市民や多様な主体と行政が連携を図りながら、地域の特性を踏まえた多様なスポーツ事業やイベントを開催するとともに、「阿南市スポーツリーダーバンク」や「日本体育大学との連携協定」を活かし、地域でのスポーツ活動を「ささえ」担い手づくりを推進することにより、スポーツが地域に根つき、地域の自主的なスポーツ活動の活性化を目指します。

### 3 指標と目標値

総合計画に定めるスポーツ施策の成果を参酌し、スポーツ施策の進捗状況を見極めるため、指標と目標値を設定します。

#### ■阿南市総合計画の指標

| 指標                  | 単位 | 現状値<br>2022年度 | 目標値<br>2032年度 |
|---------------------|----|---------------|---------------|
| スポーツ協会加盟競技団体数       | 団体 | 32            | 37            |
| スポーツ少年団員数           | 人  | 706           | 800           |
| 海洋スポーツ体験講座への参加延べ人数  | 人  | 182           | 200           |
| ベースボール型スポーツへの参加延べ人数 | 人  | 2,107         | 700           |
| 総合型地域スポーツクラブの会員数    | 人  | 406           | 500           |

#### ■スポーツ振興計画の指標

| 成人のスポーツ実施率（週1回以上） |           |
|-------------------|-----------|
| 2021年             | 実施率 32.2% |
| 2032年             | 実施率 50.0% |

| 阿南市スポーツ施設の利用者数（年間延べ人数） |               |
|------------------------|---------------|
| 2021年                  | 利用者数 218,338人 |
| 2032年                  | 利用者数 300,000人 |

## 第4章 施策の展開

### I 生涯スポーツによる「健康」づくりの推進

スポーツには、体力の向上、ストレスの発散、生活習慣病の予防はもとより、爽快感・達成感の獲得など心身両面にわたる健康増進効果があります。市民が日常的にスポーツに親しむライフスタイルを定着させることによって、市民一人ひとりの心身の健康増進を図ります。

生涯を通じて元気にいきいきと暮らすためには、健康づくりが重要です。市民が生涯を通じて健康的に日常生活を送るために、身体を動かす機会づくりや、スポーツの効果や有効性についての情報発信を推進します。

#### ■施策1 ウォーキングプログラムの充実による健康づくりの推進

市民の「する」スポーツは「ウォーキング・散歩」が最も多く挙げられています。「健康阿南21（第2次）」と連携し、生活習慣の改善や運動習慣の定着化など市民の健康づくりを後押しする取組を進めます。

阿南健康完歩マップ・積立貯筋通帳の交付等既存の取組を支援します。市民に継続したスポーツと健康づくりについて関心を高めてもらうため、公民館活動や地域行事とも連携を図りながら、事業を充実していきます。

##### （主要事業）

- 阿南健康完歩マップ・積立貯筋通帳の交付（保健センター）
- 公民館ウォーキングイベント（生涯学習課）
- 遍路道ウォーキング（文化振興課）

#### ■施策2 健康づくりに気軽に取り組む機会の充実

幅広い年齢層の方が、日常生活の中で気軽に参加できる体操教室や軽スポーツ等の活動を支援します。

##### （主要事業）

- 阿波踊り体操教室（保健センター）
- いきいき100歳体操（地域共生推進課）

## 2 生涯にわたりスポーツに「親しむ」環境づくり

スポーツを「する」、「みる」きっかけとなる機会の充実や、スポーツの習慣がある人もない人も、誰もが身近な場所でいつでもスポーツに接することができ、スポーツを身近に感じることができるよう、子どもから高齢者まで、市民がそれぞれのライフステージや興味・関心などに応じてスポーツを楽しめるよう、多様なニーズに対応したスポーツ施策を展開します。また、スポーツを通して障がいのある方の社会参加を進めるとともに、障がいに対する理解の促進に向けてパラスポーツを推進することにより、年齢や性別、障がいの有無などに関わらず、誰もが生涯にわたって日常的にスポーツを楽しむことができるまちを目指します。

### ■施策1 スポーツを「する」機会の充実

スポーツには競技性の高い種目から、ウォーキングなどの軽い運動、楽しみながら身体を動かすレクリエーションスポーツなど多種多様な種目があります。一人でも多くの市民がその時々のニーズに合ったスポーツに出会い、生涯にわたってスポーツを楽しむきっかけとなるよう、しんきんサンアリーナ（阿南市スポーツ総合センター）及びうみてらす北の脇（阿南市B&G海洋センター複合型施設）の指定管理者制度、総合型地域スポーツクラブ・スポーツ少年団等各所団体と連携し、初心者向けのスポーツ教室を実施します。さらに、民間のノウハウを活かしプログラムの提供など支援し、より多くの市民がスポーツに触れる機会の充実を図ります。

（主要事業）

- スポーツに関する幅広い情報提供の推進（スポーツ振興課）
- しんきんサンアリーナ等スポーツ施設の指定管理者制度（スポーツ振興課）
- 総合型地域スポーツクラブの育成（スポーツ振興課）



■阿南市体育祭（バドミントン競技）



## ■施策2 スポーツを「みる」機会の創出

スポーツを「みる」ことは最も手軽で身近なスポーツとの関わり方です。競技レベルの高いプロスポーツ等の試合を観戦することや中学生・高校生のインターハイの観戦等は、観戦者に夢や感動を与え、スポーツへの関心や意欲を高めます。

県内には、徳島ヴォルティス（サッカー）、徳島インディゴソックス（野球）や徳島ガンバラウズ（バスケットボール）のプロスポーツが活動拠点を置いており、年間を通してそれらのハイレベルな試合を観戦することができます。ホームゲームへの市民招待や関連情報の提供などを通じて、トップチームや選手のプレーを観ることができ、スポーツの魅力を肌で感じられるような取組を展開します。

### （主要事業）

- 徳島ヴォルティスの試合観戦（スポーツ振興課・商工政策課）
- 徳島インディゴソックスの試合観戦（スポーツ振興課・野球のまち推進課）
- トップアスリートを誘致したイベントの開催（スポーツ振興課）
- 各種スポーツ大会の周知（スポーツ振興課）



■JA アグリあなんスタジアム

### ■施策3 子どものスポーツ人口の拡大

第2期阿南市子ども・子育て支援事業計画において、子どもの人口（18歳未満人口）は、平成31年4月1日時点で11,130人と、平成27年比較して968人減少しており、今後においても引き続き減少していくことが見込まれ、令和6年以降は、1万人を下回ることが予測されています。

また、子ども人口の減少とともに、子どもたちのスポーツ・運動離れも進み、スポーツに親しんだ経験のない子どもたちも多くいます。

このことを踏まえ、日本体育大学と連携し、学校体育の実技の質の向上やスポーツを楽しむ機会を提供し、スポーツ人口の底辺にあたる子どもたちのスポーツ参加拡大を目指します。子どもたちが多様な種目のスポーツに取り組めるよう、スポーツ少年団へ支援や、中学校における部活動については、国の示す「運動部活動の地域移行に関する検討会議」の提言を受け、本市の地域の特性を踏まえ、学校と連携し、子どもたちにとって望ましいスポーツ環境の構築を進めます。

#### （主要事業）

- スポーツ少年団活動への支援（スポーツ振興課）
- 日本体育大学との協定（スポーツ振興課）
- 小中学校プレミアム授業（スポーツ振興課）
- 小中学校教員等研修会（スポーツ振興課）
- 野球人口の底辺拡大（野球のまち推進課）
- 幼稚園・保育所・認定こども園での運動会の実施（こども課）
- 中学校部活動の推進（学校教育課）



■プレミアム授業（日本体育大学との協定に基づく事業）





■ サッカー（あななんカップ）



■ 阿南市子ども相撲大会

## ■施策4 成人のスポーツ参画人口の拡大

市民アンケートからも、仕事や家事、育児が忙しくなる子育て期や働き盛り世代は、週1回以上の運動の実施が極端に低くなっていることがわかります。スポーツ実施率が低く、運動不足になりがちな子育て期・働き盛り世代やこれまでスポーツに関わってこなかった人が、継続的にスポーツを楽しむことができるよう、各世代がスポーツ・運動に関わる機会の提供を推進していますが、気軽にスポーツに親しめる機会を提供するため、各世代に応じた多様なスポーツプログラムの提供を進めます。中でも、働く世代や子育て世代などスポーツ実施率の低い世代に、スポーツを始めるきっかけとなるような取組を充実していきます。働く世代は、事業者へ休み時間や就業後にスポーツに取り組む環境づくり、子育て世代は、保健センター及びこども課と連携し、気軽に取り組めるスポーツの啓発を進めます。

### (主要事業)

- 休憩時間等を活用したスポーツの推奨啓発（スポーツ振興課）
- 生活習慣の改善指導（保健センター）
- 保健センター及びこども課と連携し、気軽に取り組めるスポーツの啓発（スポーツ振興課）



■親と子の水泳教室



## ■施策5 高齢者のスポーツ活動

本市の高齢者人口は引き続き増加が見込まれる中、いつまでも元気で明るく生き生きとした生活を送ることができるよう、生活習慣病の予防・改善や健康寿命の延伸など高齢者向けのスポーツ機会を提供するとともに、人生100年時代の高い健康意識に対応した健康づくり事業を展開します。また、いきがづくりとなるスポーツや運動を通じた地域社会での交流を深め、保健、福祉、教育など幅広い分野と連携しながらスポーツを推進します。

### (主要事業)

- 老人クラブ連合会活動事業（阿南市セニヤクラブ）
- 老人体育大会（阿南市セニヤクラブ）
- 軽スポーツ講習会（阿南市セニヤクラブ）



■JA アグリあなんテニスコート

## ■施策6 障がい者のスポーツ活動

障がいの有無に関わらず、地域でスポーツを楽しみ、スポーツを通して豊かな生活を営むことが必要となります。障がいのある方が一人でも多く、自身の興味や関心に合わせてスポーツを楽しみ、交流し、地域参加ができるよう、スポーツ教室などを実施します。さらに、パラスポーツ活動を支える指導員の育成と資質向上のための指導員養成を行い、パラスポーツの機会の拡充と障がいへの理解の促進を図ります。

### (主要事業)

- 障がい者体育大会（阿南市身体障害者連合会）
- 軽スポーツ講習会（阿南市身体障害者連合会・阿南市手をつなぐ育成会）
- ボッチャサークル事業（阿南市身体障害者連合会）



■阿南市体育祭（バスケットボール競技）



### 3 スポーツを通じた「交流」まちづくりの推進

市民・地域・多様な主体と行政が連携を図りながら、地域の特性を踏まえた多様なスポーツ事業やイベントを開催するとともに、地域でのスポーツ活動を「ささえる」担い手を充実させるための取組を推進します。スポーツが地域に根づき、自主的なスポーツ活動を活性化することで、そこに暮らす人々がふれあいやコミュニケーションを楽しむことで、地域社会への参加のきっかけが得られ、地域での交流が図れるまちづくりを推進します。

#### ■施策1 「ささえる」スポーツの推進

阿南市スポーツリーダーバンクを更に充実させ、人材の確保・活用を促進させ、指導者・大会運営の支援者の確保を進めます。また、地域のスポーツ関係者・団体へ支援し、ボランティアなど、スポーツの普及に欠かせない人材を幅広く確保・育成していきます。

##### (主要事業)

- 阿南市スポーツリーダーバンクの充実（スポーツ振興課）
- スポーツボランティアの確保・育成（スポーツ振興課）
- 部活動の地域移行の推進（学校教育課・スポーツ振興課）



■阿南市体育祭（弓道競技）



## ■施策2 総合型地域スポーツクラブの育成

地域の特性や地域資源を活用しながら、多様な形でスポーツに関わることでできる総合型地域スポーツクラブは、地域スポーツの担い手として期待されています。引き続き、総合型地域スポーツクラブの設立支援・活動の拡大に取り組むとともに、既存クラブに対しては、情報交換や運営の助言を行うほか、クラブ間の情報共有や各クラブの認知度向上に向けた支援を行います。

### (主要事業)

- 総合型地域スポーツクラブ育成（スポーツ振興課）
- 総合型地域スポーツクラブの情報発信（スポーツ振興課）



■Zumba

### ■施策3 スポーツ環境の整備

市民が身近な場所でスポーツを楽しむことができるよう、市内の各種運動施設については、適正な管理運営により快適なスポーツ環境を提供するとともに、計画的な設備の点検・更新など適切な維持管理を行います。また、学校施設を地域に開かれたスポーツ施設として有効活用するなど、市民のスポーツ活動の場として確保を図ります。

#### (主要事業)

- 施設整備事業（スポーツ振興課）
- 阿南市立学校の施設の開放に関する事業（スポーツ振興課）



■しんきんサンアリーナ（阿南市スポーツ総合センター）



■うみてらす北の脇（阿南市B & G海洋センター複合型施設）



## ■施策4 スポーツイベントの充実

都市化の進行によりコミュニティのつながり力が低下していることから、スポーツを通じて、魅力ある地域づくりやコミュニティの形成・活性化、健康づくりへの意識の向上などを図るため、「する」「みる」「ささえる」など、様々な立場や役割で市民が関わることができ、地域に根付いている既存のスポーツイベントを支援します。

### (主要事業)

- 阿南市体育祭の実施（スポーツ振興課）
- 野球大会開催推進事業（野球のまち推進課）
- 公民館における各種体育イベントの実施（生涯学習課）
- 阿南SUPタウンプロジェクトの実施（ふるさと未来課）



■那賀川流域センチュリーラン

## ■施策5 スポーツ情報の発信

市民が、スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」ために必要な情報を得ることができるよう、ホームページや市政だより等の様々な媒体を活用、公式 SNS の開設等により、スポーツの魅力を高めるスポーツ情報の充実に取り組みます。

(主要事業)

- 公式 SNS の開設 (スポーツ振興課)
- 情報発信の戦略づくり (スポーツ振興課)



■ホッケー



■スケートボード

## 第5章 計画の推進

### 1 計画の推進

本計画の推進に当たっては、行政はもとより、市民、地域、スポーツ関係団体、学校、民間企業等それぞれが計画の推進主体となって、具体的な取組を展開していきます。あわせて、これらの多様な主体が相互に協力・連携を図り、効果的な推進体制を構築して計画を実行します。

また、大規模な自然災害の発生や新型コロナウイルスなどの感染症の流行等、人々の生活に影響を及ぼすような事態に遭遇した場合にあっても、その対応策を講じながら、計画の推進に努めます。

### 2 計画の評価と見直し

本計画は、スポーツ推進の理念と基本目標、施策を明らかにするものであり、行政評価制度により評価を行います。評価に当たっては、計画策定委員会を設置します。令和9年度に中間見直しを行います。